

やまなし幼児教育センターだより

令和6年7月発行



やまなし幼児教育センター

〒400-8510

甲府市武田四丁目 4-37 (山梨大学内)

☎055-220-8143



「やまなし幼児教育センターだより」では、幼稚園・保育所・認定こども園等の幼児に関わる皆様に、当センターの取組や、幼児教育・保育に関する情報等をお伝えしていきます。

このお便りで発信した情報が、現場の皆様の取組に活用されることを願っています。ぜひ、お読みください。



「幼保小の架け橋プログラム」に基づいた 保幼小連携・接続の取組を進めています

文部科学省は、令和4年3月「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」を公表しました。「架け橋期」（5歳から小学校1年生の2年間）は生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために極めて重要な時期です。幼稚園、保育所、認定こども園、小学校という多様な施設が子供の育ちや学びのつながりを見通し、一丸となり連携・接続の取組を推進していくことが肝要です。

センターでは、幼児教育に関わる関係者が、保幼小連携・接続の理解を深め、地域の実態に応じながら、幼児教育と小学校教育の一層の連携・接続が促進されるよう、支援しています。

★ 取り組み例 ★

【体制づくり】

連携窓口の明確化
合同会議や研究会の設置

【相互の参観】

子供の育ちや学びの共有
保幼小相互の参観

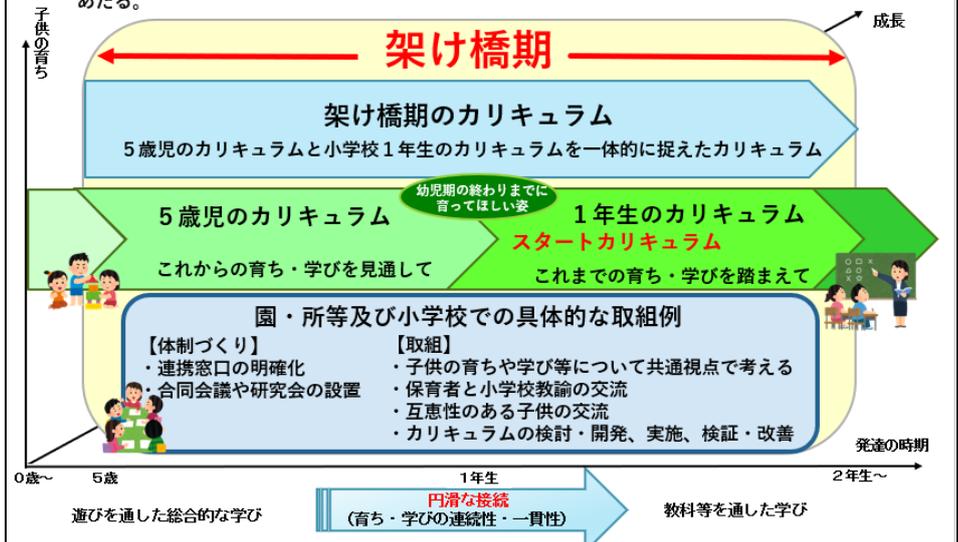
【カリキュラムについて の検討】

カリキュラムの検討・開発、
実施・評価・改善

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続

「幼保小の架け橋プログラム」に基づいた連携・接続

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実・改善にあたる。



各種研修の案内

本センターの研修は、公立・私立、幼稚園・保育所・認定こども園等を問わず、受講していただけます。

今年度の研修内容については「研修の手引き」をご覧ください。

各研修会の詳細な案内は、開催日の約1か月前に通知にてご案内いたします。参加を希望される場合は、申込みフォームにおいて、期日までにお申し込みください。

センター企画・運営の研修を受講された方には、「研修受講証明書」を発行しています。(遅刻、途中退席の方は対象外となります。)

保育者等が幼児教育・保育への理解を深め、自身の資質能力の向上を図るには、研修を受けることは重要であり、手段の一つでもあります。

そのため、本センターの研修は「保育者育成指標モデル」に基づき企画されています。

※「保育者等育成指標モデル」とは、幼稚園・保育所・認定こども園の保育者等が採用されてからの経験年数や育成期によって分類したキャリアステージにおいて、必要となる資質能力をモデルとして示したものです。



幼児教育アドバイザー訪問事業を活用しませんか！！

日々の教育・保育で、困っていることや課題はありませんか？

やまなし幼児教育センターでは、要請に応じて幼児教育アドバイザーが直接、園・所を訪問し、園内研修等を支援する「幼児教育アドバイザー訪問事業」を行っています。



幼児教育アドバイザー訪問の手続き



〈事前①〉

◆訪問依頼書を提出



センターで調整後
訪問決定

〈事前②〉

◆訪問当日の日程や流れ、内容について
センター担当者との
打ち合わせ

〈事後①〉

◆訪問終了後、1週間
以内に実施報告書を
提出

〈事後②〉

◆年度末に配付される
アンケートに回答
し、提出

*訪問依頼書、実施報告書は、やまなし幼児教育センターのWebページからダウンロードできます。

令和5年度は、15施設・団体に22回訪問しました。年々依頼数が増えています。保育参観と園内研修(振り返り)の指導・助言や地区保育者等の研究会議での講師等、活用方法も様々です。(年3回まで依頼可能)

相談内容は、子供主体の保育の実現に向けて、「保育者の関わり方」「環境構成について」が多く、個の特性に応じた援助の工夫や環境構成に関心が高くなっています。



やまなし幼児教育

